

2019年介護・認知症なんでも無料電話相談まとめ

安心して介護サービスが受けたい！

介護保険をめぐる深刻な実態

1 開催日時

2019年11月11日（月）
10時～18時（基本日時）

2 電話相談の主催

中央社会保障推進協議会
東京社会保障推進協議会

公益社団法人 認知症の人と家族の会

全国24都道府県が電話相談拠点
を設けて実施

北海道、秋田、岩手、宮城、
東京、埼玉、千葉、神奈川、

高齢化が進む中、「お金の心配なく安心して介護サービスを受けたい」が、すべての高齢者
者や家族は「負担が重くサービスを継続できない」「特養に入れない」など悩みは深刻である。
そうした悩みに寄り添い共有し

つつ、介護の専門家が具体的なアドバイスを行う。

4 何で知ったか (複数回答)

新聞…27件、テレビ…120件、
ラジオ…22件、チラシ…8件、
インターネット…10件、知人…6
件、その他17件、不明…1件

5 結果について

(2) 内容

①相談者…本人71人(28・2%)	家族161人
友人14人(5・6%)	
不明6人(2・4%)	



② 性別	.. 男性	81人	(32・1%)
女性	160人	(63・5%)	
③ 年齢	.. 不明	11人	(4・4%)
	20代	3人	(1・2%)
	30代	5人	(2・0%)
	40代	18人	(7・1%)
	50代	37人	(14・7%)
	60代	55人	(21・8%)
	70代	56人	(22・2%)
	80代	42人	(16・7%)
	90代以上	1人	(0・1%)
不明	35人	(13・9%)	

本人が拒否したり理解ができなかつたりして、どうしたらよいか悩んでいる姿や、認知症の介護で心が疲れてしまっている姿が浮き彫りになりました。それを何とか解決しようとするものの、利用できる介護保険サービスの全体像が見えないため、「どうすればいいか分からぬ」とも浮き彫りになりました。

そうした悩みを受け止めてもらえる相談先が分からぬ中で、この電話相談を見つけ、藁をもつかむ思いで電話をかけてこられています。「毎日がつらい」「介護を受ける本人を責め立ててしまう」「うつになりそうだ」などの思いを吐き出されていますが、それを介護福祉士やケアマネジャーが受け止め、しっかりと傾聴してアドバイスを行っています。

しかし、介護保険の利用や申請の方法はもとより、さまざまな悩みに対しても本来、行政・市区町村が具体的な援助や解決を行なう責任があります。

家族はデイサービスに行つてもらうことやペルパーの利用を希望していくも、介護を受ける

④ 内容	.. 制度	105件	(41・7%)
	サービス内容	114件	(45・2%)
	家族問題	122件	(48・4%)
	労働	10件	(4・0%)
※ 認知症関連	その他	53件	(21・3%)
89件	(35・3%)		

6 相談内容の特徴

介護保険制度が複雑すぎるもとで、サービスを利用するための入口である「申請」にたどり着かないまま、どう利用できるのか分からず自己努力をしている状況が明らかになつた。

○「どうすればサービスが使えるのか、どんな手続きが必要なのかなど、「介護保険のサービス利用」にたどり着く以前のところで知識も持てないまま相談の電話をかけてくる相談者が少なからずいました。

○「介護保険料はずつと払い続けるのか?」「認知症になつた時にどうしたらしいのか」「認知症の要介護者本人に代わつて申請ができるのか」など、「申請主義」制度の中で、結果的に自身で情報を収集し、対応する「自己責任」が求められている現実を突きつけられました。

○行政に相談をしても「介護保険の申請は無理」と言わっていました。

望しないならば申請できない」と言われ援助を受けることができず、申請にたどり着くための親身なサポートが受けられていない状況もありました。

○「要介護2の判定のため特別養護老人ホーム(以下、特養)

には入れないし、サービス付き高齢者住宅(サ高住)は費用が高くて金銭的に無理がある。どうすればいいか」「受給している年金で入れる施設があるのか」など、費用と制度が壁となるなどの実態が明らかになりました。

○「週3回娘が家に来てくれることで、行政が『同居』とみな

し生活援助のサービスが削られて困っている」「父を介護施設に入れたい。費用面では世帯分離をして補足給付を受けようとも思うが、そうすると今の団地に住めなくなってしまう」といっただ相談もありました。

○「要支援2で週3回訪問介護を利用しているが、週3回以上利用できない」「介護保険料未納で介護保険サービスを受けられない」など、制度が壁となり必要な介護サービスを受けることができない切実な悩みも出されています。

○医療機関も含め、「リハビリが打ち切られた」「老健でリハビリの時間が減り、ますます悪化した」などリハビリに関する相談も寄せられています。

○「透析患者はショートステイの利用が難しいと言われた。緊急時の対応にも困った」など、制度を熟知していないと解決できない事例もあり、利用者・家族に苦労がのしかかっている現実も垣間見られました。

介護サービスを利用しても、納得のいかない理由でサービス利用が打ち切られるなど、家族介護に回帰してしまう状況も明らかになった。

「ヘルパーの生活援助の時間が短縮され、娘に同居をしてもらい家族介護」でしのいでいるとの悩みや、「病院を退院後、金銭面で施設入所は断念し、在宅で見ていくが、介護者自身も高齢で体位交換やオムツ交換ができるか」などの不安が出されています。

○「在宅酸素利用。パーソナルトイレで排泄時に転倒、現在は1日ベットで臥床して過ごす。化した」などリハビリに関する相談も寄せられています。

○「在宅介護での実態：相談の中では出された「声」

・介護による強度のストレスを感じる。

・理解してくれる人が周りにいない。

・娘は介護のために仕事を辞め、うつ病を発症。

・介護している同居の母は、夜など、最終的に家族介護が求め

られ、「やるしかない状態」に追い込まれている姿が浮き彫りになっています。

○有料老人ホームで「面会時に服薬介助の依頼を受ける」、老健で「毎日、夕方に施設に行つて歯みがきや着替えを手伝つている」など、施設においても家

族による介護や介助を求められることでの苦悩も見えました。

介護によるストレスや疲れが大きくなり、「もう限界

「うつになった」「夜も眠れない」「殺意が芽生えた」など

ど苦しい思いが吐露され、施

設でも在宅でも家族への負担が相当重くなっている状況が明らかになった。

も眠れずぐったりしている。
・（介護者）自身の体を休めることができない。

・介護している妻がくたくたで、どうすればいいか分からな
い。

・介護する父のストレスがたま
り、母を叩く。

・要介護者との関係に加え、周
りの家族との関係も問題が生
じ、悩んでいる。

・夫の介護。毎日つらい。気持
ちの切り替え（方）を知りたい。
毎日胃が重く、寝不足、ふらつ
く。夜間の排尿が一番の悩み。
寝不足だが、排尿をやらないと、
ベッドが海のようになる。

○施設入所での実態

・夫の母を、憎しみの中でサポ
ート（介護）している。施設に
会いに行くたびに罵倒される。
殴りたくなるが我慢している。
限界。離婚したら楽になれる。
・入院しているが、胃ろうを造
設。昼夜逆転し、家族が病院で
介助している。

手する義理の姉に対して、殺意
が芽生えるほどいら立つ。

現在の介護保険制度や仕組みを変えるとともに、地域での介護に行政・市町村が責任を持つた施策を行うことに真の解決の道筋がある。

○多くの電話相談の時間は30分～40分以上かかり、中には3時間もお話を聴いた事例もあります。相談者のメモからは「傾聴し、落ち着かれた様子」「最後に『ごめんなさい』と言つて電話が切れる」「15年間在宅での介護の大変さを傾聴し、ねぎらいの言葉をかけさせていただけで、自分の心の気持ちや健康法は自分で探します」と電話が終わるなどの記載がありました。今回の電話相談でも多くの場合、まずは「傾聴」することが基本となります。個別の具体的なアドバイスもしますが、やはり現在の介護保険制度や仕組

みを変えなければ根本的な解決にはならず、結局は介護者や要介護者の「自己努力」「自己責任」にすり替えられてしまう現実があると思います。介護者は、要介護者である「家族」を見捨てることはできず、最後の「責任」を逃れることができない現実を突きつけられることになります。

○藁をもつかむ思いでの電話相談となつていますが、介護で外出もままならないことも話されました。私たちの努力や支援も、質・量ともに広げていくことは必要ですが、行政の役割は極めて重要ではないでしょうか。介護保険の「保険者」が各市町村であることもありますが、憲法25条の「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」の理念を、地域の最前線で達成する任務は行政・市町村にあるのではないでしょうか。行政・市町村がさらに地域に足を運び、介護で悩む住民の思いを傾聴し、寄り添い、問題解決の道筋を責任持つて立

7 相談内容

相談員の「相談メモ」からの

（1）介護保険の利用に関する相談など

- 藁をもつかむ思いでの電話相談となつていますが、介護で外出もままならないことも話されました。私たちの努力や支援も、質・量ともに広げていくことは必要ですが、行政の役割は極めて重要ではないでしょうか。介護保険の「保険者」が各市町村であることがありますから、憲法

25条の「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」の理念を、地域の最前線で達成」の三条件で文

の最前線で達成する任務は行政・市町村にあるのではないでしょ
うか。行政・市町村がさらに

地域に足を運び、介護で悩む住民の思いを傾聴し、寄り添い、問題解決の道筋を責任持つて立

○現在の介護保険制度や仕組みについていくことが求められます。

- ・訪問看護を希望したいが、どのように進めたらよいか。
 - ・88歳女性の相談。膝臓がんで予後1～2か月、介護保険未申請。回復期病棟に入院していたが、黄疸が出て転院。今後の相談中だが、転院先が決まるまで自宅介護も言われている、どんなサポートが受けられるか。
 - ・重度障害者の25歳の子どもと2人暮らし。左上腕骨折で動けず手術を勧められたが、子どものことがあり入院できず、あちこち相談したが、結局入院せず、なんとか落ち着いてきた。自分の介護申請はできないか。役所に行つたら、「子どもを連れ歩いているのだから介護保険申請は今は無理でしょう」と言われた。
 - ・同居する父がよく転倒する。地域包括支援センターに相談に行つたが、「本人が希望されない、病院受診されないなら」との理由で介護認定の申請ができなかつた。
 - ・年金生活の67歳の友人(男性)の件で相談。発達障害で引きこの

もり、人と会うのを避けるが、どこに相談したらいいか？

・腰が痛いのでリハビリを受けたいが、病院ではもう受けられないと言われた。「介護保険に入る」とはどういうことか。

・9月に認定調査を受けたが、11月11日時点で結果が来ない。

・実家の母が認知症（になりかけている？）と診断され、薬を処方された（1日1回）。動脈瘤もあり、血压の薬も服用しなくてはならないが、きちんと服用できていなくて困っている。車で10分のところに兄が住んでおり、お薬カレンダーにセットしてくれているが、本人はうまく利用できていない。介護保険は申請したが、認定が受けられなかつた。

②利用者負担

- ・要介護4の母親について相談。遠方で独居。現在は入院しているが退院後、在宅復帰は難しい。特養か老健に入所できればと思う。有料老人ホームは経済的に無理。

・胸膜炎があり要支援2。病状が悪化したが区分変更を受け付けてくれない。医師からは余命2年以内と言われている。

・要介護3の母親の件で相談。

身体障害者3級の認定を受けた。現在、訪問介護と在宅医療を利用しているが、どれくらい医療費がかかるのか不安。

・68歳女性からの相談。要支援2の認定。左右の足が不自由で、身体障害者。自営業で国保加入。年金は保険料が天引きされ、手元に残るのは11万円。昨年、申告（青色申告）で収入が増え、介護保険料が5200円から1万400円と2倍になり、支払いやが大変。そのため、デイサービスの週2回利用が困難で1回に減らざるを得ない。

③その他

- ・実母はパーキンソン病で要介護2・車いすで、外出できない。めまいもあり、介護保険制度は福祉用具と住宅改修のみ。買い物など外に連れて行つてあげた。介護認定で障害者控除を受けられると手紙をもらつた。父

くないのこと。訪問診療に切り変えて良い面もあるが悪い面もあり。外に出ることが億劫になつていて。使用できるサービスは何があるか？（身体障害手帳などあり）

・92歳の祖父が要介護1の認定。サービスの計画書を作るのにお金はかかるのか。

・最近、会話がうまくできない。認知症でないか不安がある。57歳で早期退社してから家にいる。血压が高く病院にかかる家にいる。今後の人生が不安。

・ふだん、介護相談をどこにし

たらいいか分からぬ。

・95歳で要介護5の母の特養申し込みについての相談。住民票のない自治体の特養に申し込みはできるのか？ 食事にかなり手間がかかり、介護が難しい。いい方法があるか？

・父が認知症の診断を受けた。デイサービスを利用している。

今年、負担割合が1割から3割になり、企業年金の収入が減った。介護認定で障害者控除を受けられると手紙をもらつた。父

1人で毎年確定申告しているが、書類を紛失し、「1人ではできない」「お金を盗った」と言われる。父に代わつて手続きをする方法はあるか。

・2年前から90代の母親が認知症、部屋からトイレに24時間行き来している。便意、尿意もあるのか分からぬ。移動もハイハイでしている。介護疲れでうつになりそう。かかりつけ医はいるが、あまり症状の相談につくれない。現在、要介護1。ケアマネあり。

・要介護5、医療福祉費支給制度の認定を受けていて医療費は無料だが、障害認定を受けようと区役所に相談に行つたら、「障害手帳がほしいのか？」 「障害の税金の優遇をしてほしいのか？」と言われ、よく分からず、突き返された。具体的な相談にのつてもらえる雰囲気ではなかつた。



(2) サービス内容

①ケアマネジャーに対する質問
・ケアマネとそりが合わない。

・腰椎の手術から5ヶ月が経ち、医療保険での外来リハビリが受けられなくなつた。外来でリハビリができる病院を教えてほしい。要介護認定あり。地域包括支援センターに相談し、区分変更中。

「特別の時だけ」と通常が「通院に自転車で来るようでは困難」と言う。

むが、「特別の時だけ」と通常は拒む。嫁と息子の間もギクシヤク、叔母と嫁の板ばさみで、いとこがかわいそう。介護保険サービスなど受けたいが、医師が「通院に自転車で来るようでは困難」と言う。

1人暮らしで困っているが、そういう話は聞いてもらはず、デイサービスを紹介された。相手のペース。コミュニケーションが苦手。どうしたらいいか。

要介護4、身障1級。頸椎損傷、寝たきり、糖尿病、縦内障、右耳難聴、尿カテーテル。退院時にデイサービス、訪問リハを利用していたが、今のケアマネになつてからサービスを削減された。過去に免許証やカードを紛失させられた経験がある。

・12年前にがんが判明、骨転移、うつ病も。父は90代で高齢者住宅にいる。母は他界。夫と2人暮らしだが病気に理解がない。

・重度のぜんそくで障害認定を受けている。障害サービスでヘルパーに来てもらい、掃除やお風呂をお願いしていたが、先月ヘルパー事業所がなくなつてしまつた。区役所や相談援助事業所に相談したり、自分でも調べて何件もヘルパー事業所に連絡したが断られた。

・要介護1の1人暮らしの女性。ヘルパーのサービスが25分短くなつて、仕事内容が雑になつた。現状のような生活援助の制度なら必要ないと思つてゐる。ケアマネにヘルパーのこと

・通所施設に対する質問
・101歳の母親について。デ

イサービス、訪問看護を使ってい

排せつ障害があり、義父母は「人の力を借りてまで生きていくな」と言う。ケアマネは家族の事情だからと介入しない。

②ヘルパーに対する質問

・重度のぜんそくで障害認定を受けている。障害サービスでヘルパーに来てもらい、掃除やお風呂をお願いしていたが、先月ヘルパー事業所がなくなつてしまつた。区役所や相談援助事業所に相談したり、自分でも調べて何件もヘルパー事業所に連絡したが断られた。

・要介護1の1人暮らしの女性。ヘルパーのサービスが25分短くなつて、仕事内容が雑になつた。現状のような生活援助の制度なら必要ないと思つてゐる。ケアマネにヘルパーのこと

・内縁の夫と2人暮らし。世話をしてくれていた息子は5年前に他界。体調不良が続き、家事ができなくなつていて。ゆくゆくは施設に入りたいが、年金が月10万円以下。入れる施設はあるのか。生活保護も検討してい

いるが、爪切り、浣腸など「家族にやつてもらひなさい」と言われた。そのような対応はしてもらえないのか。

・デイサービスに2年2ヶ月通つていたが、出入り禁止と言われ、話し合いもできず「弁護士を通せ」と言われた。2年間に3回ほど、他の利用者やスタッフとトラブルになつたことがある。カラオケをめぐつて腹が立つたので大声を出したことや、送迎車で担当運転手ともめたことがあります。3度目は自分の悪口を言つてゐるのが聞こえたので怒鳴つた。その場で注意もまま、いきなり「出入り禁止」を宣言され、話し合いも拒否されている。

④入所施設に対する質問

・内縁の夫と2人暮らし。世話をしてくれていた息子は5年前に他界。体調不良が続き、家事ができなくなつていて。ゆくゆくは施設に入りたいが、年金が月10万円以下。入れる施設はあるのか。生活保護も検討してい

る。

・父親が圧迫骨折で要介護3だが、改善しているので要介護1か2になるだろう。母は要介護1だが、目が悪いため外に出ることを億劫がる。施設を探したこと、特養には誰でも入れるのか。また、食事がきちんととれなくなりた父や目の悪い母に、どのような支援制度があるか。デイサービスは拒否が強く、行つてくれない。

・義理の娘から夫の母（義母）について相談。現在、老健に6カ月入所中。（2カ所入院後、施設へ）。糖尿病、低カリウム血症で入院していたが、状態が不安定になっている。数値も高く、足がむくむ。3カ月はリハビリをしていたようだが、制度的にリハビリの時間枠が少なくなり、「危険だから立たないで」とスタッフに言われている。そのためか、ますます状態が悪くなっている。

・有料老人ホームに入所しているが、施設に自分の思っているようなサービスを提供してもら

えず、みじめだ。死ぬことも考えた。

・老健入所中の母親（91歳）の相談。施設の職員から母のこと

で苦情を言われ、次の施設を探している。苦情の内容は朝、センサーマットが何度も鳴るなど。相談者か娘が毎日、施設に行つて歯みがきや着替えを手伝っている。

・80代祖母について相談。要介護4、認知症。相談者はうつ病を発症。父もうつで介護ができない。特養入所を行政に相談したが、年齢を理由に「まだ頑張れる」と取り合つてもらえない。

・有料老人ホームの職員から、面会時に服薬介助の依頼を受けた。

・認知症で入院中の母親の退院を迫られているが、入れる施設の空きがない。他の姉妹は全く関わってくれない。成年後見人の制度を申し立てようとしたら、姉妹の承諾書が必要と言われ困っている。

・サ高住に入居中の母（90歳、要介護3）についての相談。酸

素吸入が必要で、看護師がボンベ交換など医療管理を行う約束で入居した。その後、「看護師がいなくなつたので、家族にお願いしたい」と言われている。

1回訪問介護を利用しているが、デイは本人の拒否で利用していない。昨年、夫が亡くなり独居になつたが、精神障害による不安もあり、他県から娘が来ている（1回の訪問で1週間ほど滞在）。10月に介護保険が更新になり、今まで通り要介護1になつたが、ケアマネより「娘さんがたびたび来ていて同居になるので、週2回のヘルパーによる掃除はできない」と言つてきた（週1回はOK）。ケアマネが行政に問い合わせたところ、月3回以上来ていると同居とみなすと言われた。おかしいのではないか。

・現在、要支援2で週3回訪問介護を利用している。週3回以上利用することはできないのか？ ケアマネにも聞いているが、ヘルパーの制約も多く、ヘルパーに来てもらうために私が部屋を掃除している。それ以上ヘルパーは利用できないので、自費サービスも勧められた。お金も制限がある中でどうしたらいいか。

・その他

・介護保険の更新で、要介護2から要介護1に認定が下がった。認知症が進行し、夫の介護負担が大きくなっている。更新して要介護3になるとthought。要介護3になるとタクシーカードがもらえるなど、負担が軽くなる。2年前からサ高住に入居



テレビの取材を受ける是枝一成
・中央社保協事務局次長

しているが、介護サービスは利用していない。

・妻（76歳、認知症）の相談。
デイに通っていたが、認知症による攻撃性のため2、3回通つてやめた。ケアマネはいるが訪問に来ない。区役所も来ない。どこに相談したらいいか。

（3）家族の問題

①介護疲れ

・80歳の夫が1年前、認知症の診断を受けた。1年間介護したが、要介護2から3になった。夫は食事を「食べてない」と訴え、3回食べる。お風呂には「入りたくない」と言うことが多い。男性が訪問すると怒り出す。徘徊や「取られ妄想」はない。本

人の言う通りに介護をしてきたが、自身の体調に異変が生じている。手足の裏が赤くなり、冷たいものにしびれる。介護による強度のストレスが原因との判断。今後の対応を相談したい。デイサービスを利用していたが、今日よりショートステイも利用している。ショート中に子ども们的家で休み、少し良くなつた。入浴はトイレから出てきて歩いているうちに手を引いて風呂場に連れて行けばできる。食事は、食べるお皿を少しずつ出すように工夫している。

・要介護4の両親と同居。妻と2人で介護しているが、外出もできない。妻が自身のどちらかが倒れたら成り立たなくなる。ケアマネに相談しても施設入所は無理と断られる。

・夫の両親（父78歳、母71歳）

のことで相談。義母は認知症で4年前から義父が支援を拒否。義母が2カ月前に施設入所してから義父は1人暮らしを始め、それから物忘れが進み、感情が不安定になつていて。精神的に

つらい。今後どうしたらいいか。食事は弁当を利用しているが、夫は自立している。

・妻（95歳・要介護2）について

夜中にトイレに行くことが増えた。ふらつきや失禁があるため、家族が起きて対応している。シ

ョートステイを利用しているが、2泊までと制限されている。大声を出したり、他の利用者の部屋に入ってしまうことがある。最近眠れない。

・家族間のトラブルについての相談。

義父の介護を1人で行っている。義妹が好き勝手なことを言つており腹立たしい。同居している義母も今後どうしたらいいか。嫁として自分の役割だ

と思っている。殺意が芽生えるぐらい義妹に対していら立つている。

・透析を受けている84歳。要介

護1で5年経過しているが、透析患者はショートステイの利用が難しいといわれた。緊急時の対応にも困った。

・若年性認知症と診断された夫

が、通所介護を嫌がっている。夫は15年前から統合失調症、アルコール依存症だった。1人で外出して道が分からなくなり、おかしいと思つて受診。医師の診断によると脳の萎縮があるとおりで、要介護2と認定された。普通のデイサービスでは無理で、週2回、運動だけのところに通つてている。送迎は妻の私がやつている。本人はあまり行きたくない様子。自身の体を休めることができない。

・夫が若年性認知症アルツハイマー病。2カ月入院後、月曜から金曜はショートステイ、土日は在宅で介護しているが、認知症状が低下している。自身はクタクタで、どう対応すればいいか分からぬ。

・88歳の姉についての相談。1人暮らしのため、心配で食べ物を送つていて。通帳記入や現金引き出しを姉に依頼されて代行したが、その後、「あなた、お金を盗つたでしょう？」と疑わ

れた。あまりにしつこく言われ、仕方なく謝つたところ、「身内

なのにこんなことするなんて」と言われ、ますます関係が悪くなつた。このことで頭がいっぱいで眠れない日が続いている。

・86歳の母について。年金が少く、発言がコロコロ変わる。ケアマネはいるが、不信感がある。母と同居しているが、惡者扱いされている。自身はがんになり仕事を辞めた。10年間、毎日悩んでいる。利用しているデイで請求ミスがあつたが、デイ職員も「親子関係は知らない」と冷たい。仕事や親子関係に疲れているが、相談相手がない。数年前から母に虐待されている。

・父母80歳、要支援認定。母親は肝臓がん、次男との関係が悪い。娘（相談者）は強度のうつ症状があり、股関節にも病変あり、歩行困難。心身ともにボロボロ。どうすればいいのか。

・要介護3の実父を介護している。母が亡くなり父と2人の生活だが、関係性が悪く父の介護はしたくない。父からも「介護をしない」と文句を言われる。

リハビリホーム（？）に半年入所しているが、特養入所を勧められている。世帯分離も勧められるが、今の団地に住めなくなるので困る。自分も精神障害者保険福祉手帳3級を持つている。職場でも理解を得られず、周囲からも父のことばかり心配され、誰も自分のことを分かつてくれない。

・認知症の夫のことについて、市の職員が親身に相談にのってくれない。不安のため相談の電話をした。

・72歳の母親はパーキンソン病。1年前、認知機能の低下で主治医（心療内科）に相談したが、認知症ではないと診断。今年になり症状がひどくなりMRIを受けた。うつ病もあるので安定剤も飲み、フラフラしている。介護をする父にストレスがたまり、母を叩くことがある。

・ケアマネに話ができる。介護に疲れている。うつ状態なので体がきつく、言われるよう

DL自立、4カ月前から物忘れ、被害妄想あり。アルツハイマー型認知症と診断された。症状が激しくなり地域包括支援センターに相談したが、介護保険の申請手続きをしようとすると本人が強い拒否反応を示し申請できない。それ以来、地域包括支援センターも訪問してくれなくなつた。

②生活苦

・74歳の妻から相談。脳出血後遺症のため身障1級で、夫（74歳）が介護をしている。夜な夜な「死にたい」とつぶやく。介護保険料が未納で介護保険サービスを受けられない。生活が大変。医療も中断している。

・義理の母（80歳）についての相談。義母には認知症、統合失調症があり、自身は長男の妻だが、世話がとてもつらい。憎しみの中でサポートしている。次男夫婦は遠くに住んでいて、何もしようとしている。施設に会いに行くたびに罵倒される。殴りたくなるが、我慢している。も

う限界。次男とは話ができないし、したくない。夫と離婚したら楽になれるのにと思つてしまふ。

・80代女性からの相談。50歳の息子が10年前に認知症と診断され、離婚されて戻ってきた。7カ月前に交通事故を起こし、相手がヤクザで30万円払つたが、その後も毎月治療費として5万円取られている。本人にはお金がなく、自身が年金から渡しているが、もうお金がない。息子を見捨てるとはできない。このままでは心中するしかない。

③介護方法

・夫の父の介護についての相談。義父はパーキンソン病、レビー小体型認知症の診断を受けている。介護申請を行つたが、ここ1カ月ほどで認知症状が急激に進んだ。家の中のいたるところで排泄をしてしまう状態。

・義父、夫、息子（高校生・男）の4人暮らし。自身はがんを患つていて、手に力が入らず介護は行えない。夫は仕事で忙しく

日中は介護できない。夫は介護に協力的だが、仕事も忙しく負担をかけられない。倒れてしまふのではないかと心配。介護認定が決まる前に介護サービスを受けるのは、わがままではないか。どうしたらいいか。

・夫が特養に入所してから、やる気がでない。夫も認知症で、行くなたびに瘦せてしまつてゐる。今までずっと大変だつたので、施設に入れてしまつた。夫は半身不随で、食べられないし、話せない。施設の対応にも不満。「食べられなくなつたらどうしますか？」と聞かれた。食事介助は私が行うとよく食べる。家に戻した方がいいのか。

・81歳の夫。認知症の進行が速い。要介護2でデイとショートステイ利用。夫はよく食べ、よく寝て、元気で機嫌もよい。介護者の自分は毎日がつらい。どういう気持ちで過ごしたいのか。気持ちの切り替え方法を知りたい。毎日、胃が重く、寝不足でふらつくことが多い。決して夫が嫌なのではなく、散歩

も同行している。1週間があつてはいけないと趣味の水彩画は続いている。娘が1人いるが、父親が認知症になつて以来、避けるようになり、何か頼もうとしても「仕事が忙しい」と断られる。夫は穏やかで関係は良好だが、夜間の排尿が一番の悩み。寝不足だが、介助しないとベットが海のようになる。

・90代の父親が認知症で、便も垂れ流し状態。80代の母親は脳梗塞で体が動かず、言葉も出ない。特養に入れたいが、要介護2では入所できないと言われた。サ高住に入れるよう勧められたが、金銭的に難しい。両親とも家を離れたくないと言つてゐる。

・10年前から認知症の92歳の母親（介護1）の認定についての相談。弟夫婦と同居しているが、あまり介入しない。昨日まで、もの忘れがひどい状態だった。今までこんなことはなかつた。ケアマネはいる。デイは週3回

も同行している。こんな急に様子が変わることがあるのか？ どうすればいいか。

④その他

・妻と2人暮らし。妻は生活が不規則で、同じことを何度も言っている。風呂の回数が減り、寝付けなくなつていて。認知症を疑つていて。自身も足のしびれや足の引きつりなどがあり通院している。要介護2、脊椎管狭窄症で2回の腰椎手術後、通所サービスに4～5カ月前まで通つていたが、事業所とトラブルになり通所をやめている。今後が不安。

・88歳独居の姉についての相談。姉は緑内障で24歳の時に全盲になり、84歳で脳梗塞を起こしてから脳梗塞をくり返し、要介護5となつた。入院をくり返していたが現在は在宅。見当識低下が見られ始め、妹（相談者）のことが分からぬ。姉が混乱したり怒つた時にどうしたらいいか分からない。

(4) 労働問題

・介護職員（グループホーム職員）の処遇が安すぎる。どこに言えばいいのか。声を拾つてほしい。今日の相談の結果は、行政などに伝えてくれるのか。

・当直と夜勤の違いを教えてほしい。当直の翌日も日勤。利用者の徘徊あり、当直中もオムツ交換があり、洗濯もある。休憩はまちまち。遅出、早出などもあり、週に1回も休めないことがある、デイもヘルパーの記録も、提供していない日のサービス記録をアリバイ的に書かせている。意見を言つても、「余計なことは言うな」「黙つておけ」と言われる。

・常勤でヘルパーの仕事。職場異動後、朝7時から深夜0時過ぎまでの勤務。他のスタッフも残業しているので1人だけ早く帰れない。異動したばかりで相談もできない。みなし残業30時間だが、労基法違反ではないか。